

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization UNESCO Associated Schools

# ユネスコスクール便り

№85

令和2年2月12日  
大牟田市1ねろスクール  
担当者通信

## 快挙! 「ジャパンSDGsアワード」受賞

昨年12月20日に「第3回 ジャパンSDGsアワード」の受賞結果が発表され、大牟田市教育委員会が「SDGs パートナシップ賞 (特別賞)」を受賞しました。この賞は、SDGs 達成に資する優れた取組を行っている企業・団体等に贈られるもので、教育委員会としての受賞は初めての事です。首相官邸で行われた受賞式には、安田昌則教育長が出席され、安倍首相より表彰状が授与されました。

大牟田市教育委員会の受賞は、教育委員会と一体となってSDGsへの取組を進めてきた各学校にとっても大変喜ばしいことであり、SDGs達成に向けた自校のESDの価値を再認識し、家庭・地域に発信していくまたとない好機であると考えます。この機を逃さず、学校の中だけでなく家庭・地域とSDGsを共有し、一体となって取組を推進していく動きをつくっていきましょう。



## 「海洋教育子どもサミット2020in おおむた」が開催されました

1月17日(金)に大牟田文化会館で「海洋教育子どもサミット2020in おおむた」が開催されました。サミットには、市内のみなど小学校、天領小学校、天の原小学校のほか、九州で海洋教育に取り組む沖縄県、鹿児島県、佐賀県の学校の参加があり、合計8校の子ども達が集いました。

ポスターセッションによる各学校の取組の交流と「人と海との共生」をテーマとするパネルディスカッションが行われ、海との様々なつながりを生かした各学校の特色ある取組を子ども達が学び合いました。パネルディスカッションでは、パネリストだけでなくフロアの子も達からも活発な意見が出され、海とともに生きる未来を様々な視点から捉え、海と私達の社会の持続可能性について考えを深め合う姿が見られました。



みなど小学校のポスターセッションの様子。人の生活と海とのバランスを保つことを考える大切さについて説明していました。



パネルディスカッションの様子。8校の代表者にフロアの子も達も交え、「人と海との共生」について活発な意見交換が行われました。

講師の東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センターの及川幸彦先生、同センター長の田中智志先生から、各学校の取組の特色と意義をご講評いただき、未来を見据えた子ども達の真剣な学びへの賛辞と期待を込めた言葉をいただきました。